

防長医学史年表

西暦	年 次	医 学 関 係 事 項		一 般 事 項	
		長 州 藩 内	国 内	長 州 藩 内	国 内 および 世 界
1600	慶長5（庚子）			初代萩藩主毛利輝元(～1623)(10) 岩国領成立(11)	関ヶ原の戦(09)
1603	慶長8（癸卯）				家康、征夷大將軍となる(02)
1604	慶長9（甲辰）			毛利輝元萩開府(02)	
1606	慶長11（丙午）		林道春「本草綱目」を幕府に献上		
1607	慶長12（丁未）		曲直瀬玄朔「医学天正記」		朝鮮通信使初来日(05)
1610	慶長15（庚戌）			検地完了	
1613	慶長18（癸丑）				キリスト教禁止令(12) 露ロマノフ王朝成立
1614	慶長19（甲寅）				大坂冬の陣(10)
1615	元和元（乙卯）				大坂夏の陣(04) 武家諸法度制度(07)
1616	元和2（丙辰）				外国船来航を平戸・長崎に限定(08)
1617	元和3（丁巳）		栗崎道喜ルソンより南蛮医学を伝える	下松藩成立(04)	
1631	寛永8（辛未）			請紙制度施行(10)	
1633	寛永10（癸酉）				ガリレオ 地動説で宗教裁判
1636	寛永13（丙子）		曲直瀬道三著・玄朔増補「衆方規矩」		
1637	寛永14（丁丑）				島原の乱(10)
1639	寛永16（己卯）	烏田智庵正通(～1698)			鎖国の完成(07)
1644	正保元（甲申）			朝鮮人漂着の記録(長崎送り)(12)	明滅亡
1647	正保4（丁亥）			長崎聞役創設	

防長医学史年表

西暦	年 次	医 学 関 係 事 項		一 般 事 項	
		長 州 藩 内	国 内	長 州 藩 内	国 内 および 世 界
1649	慶安2（己丑）		西玄甫、カスパル流外科開始(12)		
1650	慶安3（庚寅）			領内に18の宰判設置 徳山藩発足	
1651	慶安4（辛卯）			2代萩藩主毛利綱広(～1682)	慶安の変(07)
1653	承応2（癸巳）			清末藩成立(10)	
1657	明暦3（丁酉）				江戸明暦の大火(01)
1661	寛文元（辛丑）				清、中国統一
1663	寛文3（癸卯）		名古屋玄医「医経溯洄衆抄」		
1664	寛文4（甲辰）	戴曼公を岩国に招聘			
1673	延宝元（癸丑）			錦帯橋架橋(10)	
1677	延宝5（丁巳）			藩札発行(07)	
1681	天和元（辛酉）		桂川甫筑、紅毛流外科を学ぶ(09)		
1682	天和2（壬戌）			3代萩藩主毛利吉就(～1694)	西鶴「好色一代男」
1685	貞享2（乙丑）		岡本一抱「医方大成論諺解」		生類憐れみの令(07)
1686	貞享3（丙寅）			貞享検地(02)	
1690	元禄3（庚午）		ケンペル長崎渡来(05)		
1691	元禄4（辛未）		幕府、南蛮流・紅毛流外科医吉田自庵、栗崎自伯を任用(06)		
1699	元禄12（己卯）			三田尻大開作（塩田への移行）(09)	
1702	元禄15（壬午）				赤穂浪士の仇討(12)

防長医学史年表

西暦	年 次	医 学 関 係 事 項		一 般 事 項	
		長 州 藩 内	国 内	長 州 藩 内	国 内 および 世 界
1703	元禄16 (癸未)				近松門左衛門「曾根崎心中」
1707	宝永4 (丁亥)			5代萩藩主毛利吉元(～1731)	
1709	宝永6 (己丑)		後藤良山「師説筆記」		
1716	享保元 (丙申)				徳川吉宗享保の改革(08)
1719	享保4 (己亥)			藩校明倫館創立(01)	
1722	享保7 (壬寅)		小石川養生所設置(12)		
1725	享保10 (乙巳)			櫨の栽培奨励(01)	
1728	享保13 (戊申)	栗山考庵献臣(～1791)			
1729	享保14 (己酉)		幕府、薬種問屋制を定める(09) 香川修庵「一本堂薬選」		
1732	享保17 (壬子)	永富独嘯庵(～1766)		享保の虫枯れ(12)	享保の大飢饉
1735	享保20 (乙卯)		青木昆陽「蕃薯考」		
1737	元文2 (丁巳)	烏田智庵「長防物産名寄」			
1744	延享元 (甲子)			蠟の専売制実施	
1748	寛延元 (戊辰)				竹田出雲「仮名手本忠臣蔵」
1751	宝暦元 (辛未)			7代萩藩主毛利重就(～1781) 宝暦の改革	
1754	宝暦4 (甲戌)		山脇東洋、人体解剖(02)		
1755	宝暦5 (乙亥)	永富独嘯庵、白砂糖製造			
1758	宝暦8 (戊寅)	栗山幸庵、人体解剖(03)			

防長医学史年表

西暦	年 次	医 学 関 係 事 項		一 般 事 項	
		長 州 藩 内	国 内	長 州 藩 内	国 内 および 世 界
1759	宝暦9（己卯）	栗山幸庵、女体解剖(06)	山脇東洋「蔵志」 吉益東洞「医断」		
1761	宝暦11（辛巳）			宝暦検地(08)	
1763	宝暦13（癸未）			撫育方創設(05)	
1764	明和元（甲申）	永富独嘯庵「漫遊雑記」	吉益東洞「類聚方」	7代徳山藩主毛利就馴（～1837）	
1765	明和2（乙酉）	萩に薬園開設(06)			
1767	明和4（丁亥）				田沼意次の財政改革(07)
1770	明和7（庚寅）		平賀源内、エレキテル		
1771	明和8（辛卯）		杉田玄白、前野良沢、中川淳庵 江戸小塚原にて人体解剖(03)		
1774	安永3（甲午）		杉田玄白ら「解体新書」		
1775	安永4（乙未）				米独立戦争（～'83）
1781	天明元（辛丑）			8代萩藩主治親（～1791）	
1782	天明2（壬寅）				天明の飢饉（～'87）
1785	天明5（乙巳）			徳山藩校鳴鳳館(05)	
1786	天明6（丙午）		大槻玄沢、蘭学塾芝蘭堂開設		
1787	天明7（丁未）			清末藩校育英館	松平定信の寛政の改革(06)（～'93）
1789	寛政元（己酉）				フランス革命
1790	寛政2（庚戌）		緒方春朔、人痘鼻乾苗法(02)		
1791	寛政3（辛亥）		幕府直轄医学校「医学館」開設(10)		

防長医学史年表

西暦	年 次	医 学 関 係 事 項		一 般 事 項	
		長 州 藩 内	国 内	長 州 藩 内	国 内 および 世 界
1792	寛政4（壬子）			長府藩校敬業館(05)	ロシア使節ラクスマン来航(09)
1793	寛政5（癸丑）		宇田川玄随「西説内科撰要」		
1796	寛政8（丙辰）	池田瑞仙、幕府医官（痘科）任官(12)	海上随鴟「波留麻和解」	8代徳山藩主毛利広鎮(～1837)	ジェンナー種痘法
1801	享和元（辛酉）	四熊家「見学堂」	小石玄俊、蘭学塾究理堂開設		
1804	文化元（甲子）	南部伯民「技癢録」 鳥田良岱(～1879)	華岡青洲、麻酔手術成功(10)		仏、ナポレオン皇帝
1806	文化3（丙寅）		多紀元簡「素問識」	伊能忠敬防長海岸を測量(04)	
1807	文化4（丁卯）		和田東郭「導水鎖言」		
1809	文化6（己巳）				間宮林蔵の北方探検(07)
1810	文化7（庚午）		土生玄碩、幕府眼科医官		
1811	文化8（辛未）	賀屋恭庵「傷寒論章句」	幕府翻訳局開設(05) 日黒道琢「騷家医言」		
1814	文化11（甲戌）				ウィーン会議
1815	文化12（乙亥）			上田鳳陽山口講堂(04)	
1823	文政6（癸未）	徳山藩医学館開設(松岡玄知)(12)			
1824	文政7（甲申）		シーボルト、鳴滝塾開設		
1826	文政9（丙戌）	シーボルト下関訪問(01)			
1827	文政10（丁亥）		多紀元堅「傷寒広要」		
1828	文政11（戊子）				シーボルト事件(10)
1829	文政12（己丑）		坪井信道、蘭学塾日習堂開設		

防長医学史年表

西暦	年 次	医 学 関 係 事 項		一 般 事 項	
		長 州 藩 内	国 内	長 州 藩 内	国 内 および 世界
1830	天保元（庚寅）	烏田圭三（～1883）			
1831	天保2（辛卯）	岡研介「生機論」		天保の大一揆(07)	
1833	天保4（癸巳）	四熊宗庵（～1908）	伊藤玄朴、蘭学塾象先堂開設		天保の飢饉（～'39）
1837	天保8（丁酉）		本間棗軒「瘍科秘録」	13代萩藩主毛利敬親（～1868）	大塩平八郎の乱(02) 英、ヴィクトリア女王即位
1838	天保9（戊戌）		緒方洪庵、蘭学塾適塾開設		
1839	天保10（己亥）		新宮凉庭、順正書院開設		蛮社の獄(05)
1840	天保11（庚子）	南苑医学所開設（加屋恭庵、青木周弼、能美洞庵）(09)		天保の改革(07) 下関越荷方拡充(11)	清、アヘン戦争（～'42）
1841	天保12（辛丑）	「防長風土注進案」編集開始(01)			水野忠邦の天保の改革(05)（～'43）
1843	天保14（癸卯）	徳山藩医学館にて蘭医学講義開始(12)			
1845	弘化2（乙巳）	福田正二（～1901）			
1846	弘化3（丙午）	浅山良輔（～1900）			
1847	弘化4（丁未）			岩国領養老館創設(05)	
1848	嘉永元（戊申）			月性私塾開設	マルクス・エンゲルス「共産党宣言」
1849	嘉永2（己酉）	萩南苑医学所を済生堂と改称(03) 済生堂において種痘開始(10)	幕府蘭方医登用厳禁（外科、眼科以外）(03) 鍋島藩で蘭法種痘実施(06)		
1850	嘉永3（庚戌）	済生堂を好生館と改称、新築(08)			
1853	嘉永6（癸丑）				ペリー浦賀に来航(06) ブチャーチン長崎来航(07) クリミア戦争（～'56）
1854	安政元（甲寅）	岩国領愛知館開設(08)		吉田松陰密航失敗(03)	日米和親条約締結(03) 東海大地震(11) 日露和親条約(12)
1855	安政2（乙卯）		幕府、蕃書調所開設(03)		日蘭和親条約(12)

防長医学史年表

西暦	年 次	医 学 関 係 事 項		一 般 事 項	
		長 州 藩 内	国 内	長 州 藩 内	国 内 および 世界
1856	安政3（丙辰）			洋式軍艦丙辰丸進水(12)	ハリス下田着任(08)
1857	安政4（丁巳）		神田にお玉ガ池種痘館設置(05) 蘭医ボンベ来日(08)	松下村塾(11)	
1858	安政5（戊午）		大坂古手町に除痘館開設(04) 幕府蘭方禁令解く(07) コレラ流行(07～)		日米修好通商条約締結(06) 日蘭・露・英・仏通商条約(07) 安政の大獄(09)(～'59)
1859	安政6（己未）	好生堂(医学教育)と博習堂(兵学教育)を分離(09)	米医ヘボン来日(10)		ダーウィン 「種の起源」
1860	万延元（庚申）		幕府種痘所開設(07)	萩藩洋式兵制改革(02)	桜田門外の変(03)
1861	文久元（辛酉）	明倫館内の好生堂を瓦町に新築移転(02)	長崎養生所開院(09) 幕府種痘所を西洋医学所へ改称(10)		米、南北戦争(～'65)
1862	文久2（壬戌）		幕府蕃書調所を洋書調所へ改称(05) 蘭医ボードイン来日(12)		
1863	文久3（癸亥）	赤間関病院開設	幕府西洋医学所を医学所へ改称(02) 幕府洋書調所を開成所へ改称(09)	藩庁山口移設(04) 長州藩攘夷戦争(05)	薩英戦争(07) 文久政変(08)
1864	元治元（甲子）			四国艦隊馬関戦争(08)	禁門の変(07) 第一次長征(07)
1865	慶応元（乙丑）	諸隊附属の病院廃止・軍事病院(山口・高森、吉田)常設(04)			メンデル、 遺伝の法則発見
1866	慶応2（丙寅）	山口好生堂(09)		薩長同盟(01)	徳川慶喜将軍(12) 孝明天皇死去(12)
1867	慶応3（丁卯）				大政奉還(10) 王政復古(12) マルクス「資本論」
1868	明治元（戊辰）	米医ベデル三田尻洋学塾で医学教授(01～09) 好生局(山口藩)(11)	朝廷西洋医術採用を許可(03) 横浜仮軍事病院開設、院長英医ウィリス(04) 大病院(東京下谷藤堂邸跡)開設(09) 長崎養生所を医学校へ改称(10)	岩国藩成立(03)	鳥羽伏見の戦(01) 江戸開城(04)
1869	明治2（己巳）	医院(山口藩医学校・病院・衛生局)(10)	大病院を医学校兼病院とし医療を統括(02) 大阪大福寺に仮病院(ボードウィン)(02) 大学組織を東校と南校に編成(12) 鹿児島浄光寺に医学校(ウィリス)(12)	14代萩藩主元徳(～1871)	戊辰の役終結(05) 版籍奉還(06)
1870	明治3（庚午）		ドイツ医学教育の採用決定(02) 金沢藩医学館(02) 岡山藩医学館大病院(04)		普仏戦争(～'71)
1871	明治4（辛未）		文部省新設(07) 独教師ミュレル、ホフマン東校に着任(08)	山口・岩国・豊浦・清末県設置(07) 山口県成立(11)	廃藩置県(07)

防長医学史年表

西暦	年 次	医 学 関 係 事 項		一 般 事 項	
		長 州 藩 内	国 内	長 州 藩 内	国 内 および 世界
1872	明治5（壬申）	壬申考試(06) 赤間関医学所(松本濤庵)(06) 船木医学処(10)	相良知安、文部省医務課初代課長(02) 8大学区に医学校設置の方針(08) 京都府療病院(治療及び医学教育)設置(11)		地券発行(07) 学制頒布(08) 太陽暦採用(11)
1873	明治6（癸酉）	山口好生堂・山口医院を三田尻へ移設(12)	大阪府病院北御堂に開設(02) 長与専斎、文部省医務局局長(03) 名古屋西本願寺別院に病院・医学講習所併設(05)	県内大区・小区の行政区編成(06)	徴兵令(01) 地租改正(07) 征韓論大分裂(10)
1874	明治7（甲戌）	華浦医学校・病院(烏田圭三)(04) 三田尻医事講習所(明覚寺本堂)(04)	文部省大学区廃止(05) 第一大学区医学校を東京医学校へ改称(05) 医制76条公布(08) 千葉に共立病院創立(07)		佐賀の乱(02) 台湾出兵(05)
1875	明治8（乙亥）	各大区に医学社設立(08)	医術開業試験実施を3府に布告(02) 文部省医務局を内務省に移管(06)		千島樺太交換条約(05) 江華島事件(09)
1876	明治9（丙子）	赤間関医学所廃止(08)	医術開業試験実施を各府県へ通達(01) 天然痘予防規則制定(04) 済生学舎創立(長谷川泰)(04) 東京医学校を本郷へ移転(12)	萩の乱(10)	日朝修好条規(江華島条約)(02) 小笠原諸島領有通告(10)
1877	明治10（丁丑）	華浦医学校・病院廃止(07)	東京医学校東京大学医学部へ改称(04) 東京医学校跡(東京下谷)は東京大学医学部別課となる(04)		西南の役(02)(～09)
1878	明治11（戊寅）		浅田宗伯「医学智環」		大久保利通暗殺(05)
1879	明治12（己卯）		医師開業試験規則(出題が各県から内務省へ)布達(02) コレラ全国に流行(06) 中央衛生会、地方衛生会設置(12)		沖縄県(04)
1880	明治13（庚辰）	山口県医学校(福田正二)(10)	伝染病予防規則制定(07) 日本薬局方編集を指令(11)		
1881	明治14（辛巳）	山口県萩医学校発足(10)(～1882)	高木兼寛、松山棟庵成医会(慈恵医大の始祖)創設(01)		明治14年の政変(10) 板垣退助自由党結成(10)
1882	明治15（壬午）		文部省医学校通則(甲種、乙種)制定(05)		大隈重信立憲改進黨結成(03) 福島事件(自由党河野広中)(11)
1883	明治16（癸未）	山口県医学校廃止(12)	医師免許規則、医術開業試験規則布告(10)		コッホ、コレラ菌発見
1884	明治17（甲申）		全国医籍調査編成開始(01)		
1885	明治18（乙酉）				天津条約(04) 第一次伊藤内閣成立(12)
1886	明治19（丙戌）		帝国大学令布告(03) 中学校令(高等学校設置)公布(04)	山口高等学校設置(11)	

防長医学史年表

西暦	年 次	医 学 関 係 事 項		一 般 事 項	
		長 州 藩 内	国 内	長 州 藩 内	国 内 および 世 界
1887	明治20（丁亥）	山口県医会総会開催(12)	日本赤十字社発足(05) 長井長義、エフェドリン分離 学位令公布(05) 高等学校医学部(官立、公立、私立)告示(08)		
1888	明治21（戊子）	山口日本赤十字支部開設(10)	第三高等学校医学部に岡山県医学校を編入(04)		
1889	明治22（己丑）		舎密局(第三高等学校)京都移転(08)		帝国憲法発布(02)
1893	明治26（癸巳）		第1回日本医学会開催(04)		
1894	明治27（甲午）		高等学校令(高等学校を改称)公布(06) 北里柴三郎、ペスト菌発見	山口高等学校を山口高等学校と改称(3年制の大学予科, ～M39)(06)	日清戦争(08)
1895	明治28（乙未）				下関条約(04) 三国干渉(04)
1897	明治30（丁酉）		京都帝国大学新設(06) 志賀潔、赤痢菌発見		
1898	明治31（戊戌）		学校医制度公布(01) 学位令改正(12)		
1899	明治32（己亥）		京都帝大医科大学設置(09)		
1900	明治33（庚子）	山口県医学会(04)			
1901	明治34（辛丑）	月刊誌「防長医事」発刊(08)	医学専門学校令公布(04) [高等学校医学部を医学専門学校へ改称]		
1902	明治35（壬寅）				日英同盟(01)
1903	明治36（癸卯）		福岡医科大学(03) 専門学校令(03)[京都・愛知・大阪・慈恵会医学専門学校]		
1904	明治37（甲辰）		熊本県私立医学専門学校、私立日本医学校(現日本医大)		日露戦争(02)
1905	明治38（乙巳）				アインシュタイン、 特殊相対性理論
1906	明治39（丙午）		医師法・歯科医師法公布(05)		南満州鉄道(後藤新平)(11)
1908	明治41（戊申）		田原淳、心臓刺激伝導系田原結節発見		

防長医学史年表

西暦	年 次	医 学 関 係 事 項		一 般 事 項	
		長 州 藩 内	国 内	長 州 藩 内	国 内 および 世 界
1909	明治42（己酉）	山口県医師会創立（07）	秦佐八郎、サルバルサン発見		
1910	明治43（庚戌）				大逆事件(05) 日韓併合(08)
1912	大正元（壬子）	医事新聞「防長医薬評論」発刊(04)	東京女子医学専門学校		
1914	大正3（甲寅）	第1回山口県医学会開催(04)			第1次大戦(08)
1915	大正4（乙卯）		大阪府立高等医学校を府立大阪医科大学へ改称(10)		
1917	大正6（丁巳）				露、十一月革命
1918	大正7（戊午）				米騒動(08)
1919	大正8（己未）		医師会法公布(09)		ヴェルサイユ条約
1920	大正9（庚申）	山口県立病院を日本赤十字社山口支部に移管(04)			国際連盟成立